

## 中京テレビ杯

令和元年度春季第73回 東海地区大学(女子)ソフトボールリーグ戦

— 兼、第54回全日本大学ソフトボール選手権大会一次予選 —

— 兼、第51回西日本大学ソフトボール選手権大会予選 —

会期：2019年4月20・21・27日、5月2・3・4・5日

会場：愛知県東海市／新宝緑地運動公園、豊田市／運動公園ソフトボール場

### I 部リーグ戦結果

チーム	東海学園	中 京	星 城	日本福祉	中京学院	岐阜協立	勝	分	敗	率 順
東海学園	—	● 1-3 ● 0-1	○ 9-0 ○ 7-2	○ 1-0 ○ 7-0	○ 8-0 ○ 8-1	○ 11-0 ○ 7-0	8	0	2	2位
中 京	○ 3-1 ○ 1-0	—	○ 6-1 ○ 6-0	○ 2-1 ○ 6-2	○ 10-0 ○ 7-0	○ 7-0 ○ 7-2	10	0	0	優勝
星 城	● 0-9 ● 2-7	● 1-6 ● 0-6	—	○ 13-1 ○ 8-2	○ 4-2 ○ 2-1	○ 8-4 ○ 5-0	6	0	4	3位
日本福祉	● 0-1 ● 0-7	● 1-2 ● 2-6	● 1-13 ● 2-8	—	● 1-4 ● 0-1	● 5-7 ○ 4-0	1	0	9	6位
中京学院	● 0-8 ● 1-8	● 0-10 ● 0-7	● 2-4 ● 1-2	○ 4-1 ○ 1-0	—	● 5-8 ○ 3-0	3	0	7	4位
岐阜協立	● 0-11 ● 0-7	● 0-7 ● 2-7	● 4-8 ● 0-5	○ 7-5 ● 0-4	○ 8-5 ● 0-3	—	2	0	8	5位

### II 部リーグ戦結果

チーム	至学館	岐阜聖徳	愛知教育	常 葉	名古屋	静岡	勝	分	敗	順位
至学館	—	○ 7-0	○ 8-2	○ 13-3	○ 15-0	○ 10-0	5	0	0	1位
岐阜聖徳	● 0-7	—	○ 8-0	● 0-3	○ 9-0	○ 9-2	3	0	2	3位
愛知教育	● 2-8	● 0-8	—	● 3-10	○ 21-0	○ 10-0	2	0	3	4位
常 葉	● 3-13	○ 3-0	○ 10-3	—	○ 10-3	○ 11-3	4	0	1	2位
名古屋	● 0-15	● 0-9	● 0-21	● 3-10	—	○ 17-5	1	0	4	5位
静岡	● 0-10	● 2-9	● 0-10	● 3-11	● 5-17	—	0	0	5	6位

### 代表

#### I 部×II 部入れ替え戦

岐阜協立大学(5位) 6-7 常葉大学(2位)

※常葉大学はI部昇格

日本福祉大学(6位) 5-0 至学館大学(1位)

※日本福祉大学はI部残留

第16回東海地域大学選手権大会(第54回インカレ最終予選)・第51回西日本大学選手権大会:

中京大学・東海学園大学・星城大学・

中京学院大学・常葉大学・日本福祉大学・

至学館大学・岐阜協立大学(以上8校)

## 個人表彰選手

### ● I 部リーグ

最優秀選手賞：丹羽 萌 (中京大学)  
首位打者賞：手島京都美 (東海学園大学)  
記録6割8分2厘  
打点賞：森本 美由 (中京大学)  
記録12  
本塁打賞：該当者なし  
盗塁賞：杉本 梨緒 (中京大学)  
記録7  
最優秀防御率賞：丹羽 萌 (中京大学)  
記録0.17

### ベストテン：

投手：山田 玲菜 (東海学園大学)  
捕手 手島京都美 (東海学園大学)  
一塁手：森本 美由 (中京大学)  
二塁手：杉本 梨緒 (中京大学)  
三塁手：藤原 量子 (星城大学)  
遊撃手：高瀬 沙羅 (中京大学)  
外野手：佐藤 友香 (中京大学)  
外野手：舟橋 花保 (中京大学)  
外野手：梅野 結菜 (東海学園大学)  
DPPF：榎原 桜 (星城大学)

### ● II 部リーグ

優秀選手賞：松葉 寧々 (至学館大学)  
II 部首位打者賞：石島 世萌 (常葉大学)  
記録：7割5分0厘  
II 部優秀防御率賞：伊藤 紗希 (岐阜聖徳学園大学)  
記録：0.68

### ベストプレイヤー賞：

至学館大学：松葉 寧々  
常葉大学：仲野 未姫  
岐阜聖徳学園大学：福田 奈央  
愛知教育大学：谷口 瑞季  
名古屋大学：新美真志呂  
静岡大学：茂筑 佑季

### ● I 部・II 部共通

ベストマネジメント賞：小川由貴奈 (中京大学)  
ベストマーケティング賞：岡野空 (岐阜聖徳学園大学)

講評 今大会、4月20・21・27日の三日間は、愛知県東海市協会のご尽力のもと新宝緑地公園で、5月2・3・4・5日の四日間は、同県豊田市協会のご尽力のもと豊田市運動公園において、入れ替え戦も含めて全47試合が行われた。毎年の事ながら、両協会には多大なるご協力とご尽力をいただいたことに感謝申し上げます。

今大会は、前季優勝の東海学園大とそれを追う中京大の二強に、戦力が充実している星城大が食い込めるかに注目が集まった。1次リーグの二強対決では、中京大が東海学園大に3-1で競り勝った。二次リーグは、行き詰まる投手戦となり、強風の中のタイムリーエラーで先制した中京大が1-0のまま逃げ切った。その結果、中京大が春季I部総当たり2回制になって初の全勝優勝を果たした。注目された星城大は下位に取りこぼさなかったものの上位には勝てず三位となった。四位には創部以来最多勝の3勝をあげた中京学院大、続いて岐阜協立大、日本福祉大が入った。入れ替え戦では、I部六位の日本福祉大がII部一位の古豪・至学館大と対戦しI部を死守した。一方、I部五位の岐阜協立大とII部二位の伝統校・常葉大との対決はタイブレイクの末、常葉大がI部昇格を果たした。

最優秀選手賞には、優勝した中京大のエース丹羽萌が選出され、防御率0.17で最優秀防御率賞も獲得した。首位打者は準優勝の東海学園大の捕手・手島京都美 (記録0.682)、打点賞は中京大で活躍した森本美由 (記録12)、盗塁賞は中京大の杉本梨緒 (記録7) が二度目の獲得となった。優秀選手賞には、II部で優勝を果たした至学館大の強打者・松葉寧々が選ばれた。今季から復活したII部首位打者賞には常葉大の石島世萌 (記録0.750) が、II部最優秀防御率賞には岐阜聖徳学園大の伊藤紗希 (記録0.68) が受賞した。

今大会の結果、I部上位3チームには全日本大学選手権の出場権をほぼ手中に収めた。今年度から愛知県安城市で聖地化事業として5年間行われる全日本大学選手権大会で、地元東海地区の大学として活躍が期待される。(理事長 二瓶雄樹)